

様式(細則 5-2)

平成30年 4月 3日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

議員名 小川 稔宏



## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため(視察・**研修**)を(実施・**受講**)したので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 平成30年3月24日(土) 11:00~13:30
2. 研修内容  
『財政健全化ってなんだろう?』in 広島  
講師 今村 寛 氏(前福岡市財政調整課長)  
主催 地方議員研究会
3. 研 修 先 広島県広島市南区金屋町1-17 ワークピア広島
4. 調査経費 ￥20,340円  
(経費内訳 受講料 15,000円、交通費5,340円)
5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



## <概要>

### I 福岡市の財政構造

(1)歳入 平成 28 年度予算（一般会計）における歳入 7,845 億円余りのうち、使途が自由に決められる「一般財源」はおよそ半分（3,965 億円）。残り半分は使途が特定の事業に限られる「特定財源」である。

(2)歳出

①一般会計歳出を性質別に一般財源（3,965 億円）ベースで見ると、公債費 867 億円（22%）、扶助費 631 億円（16%）、人件費 744 億円（19%）となっており義務的経費が約 6 割を占めている。

②目的別に仕分けると、こども育成費 410 億円（10%）、保健福祉費 1,000 億円（25%）等社会保障費が 35%、公債費が 918 億円（23%）で約 6 割を占め。

③歳出構造の変化

	平成 3 年	平成 1 3 年	平成 2 2 年
普通建設事業費	718 億円 (22%)	437 億円 (11%)	223 億円 (6%)
公債費	463 億円 (14%)	898 億円 (21%)	1,015 億円 (24%)
扶助費	218 億円 (7%)	347 億円 (9%)	559 億円 (14%)
操出金	149 億円 (4%)	283 億円 (7%)	385 億円 (10%)

増えすぎていた公共事業（普通建設事業費）のシェアが大きく減少する一方で過去の公共事業等に伴う建設地方債の返済（公債費）が大きく膨らみ、社会保障関係費の増加で扶助費や操出金が大きく増加。

④歳出の過去 10 年推移（普通会計決算ベース）性質別では扶助費 6 割増、操出金（医療・介護保険等）は 4 割弱の増、普通建設事業費（公共事業）は 5 割の減。目的別では民生費 4 割増、土木費 4 割弱の減などの構造的変化。

### II これまでの健全化の取組み

市債発行の抑制、財源不足の解消、市民にわかりやすい財政情報の提供。

### III 今後の財政見通し

老年人口が増加し、生産年齢人口の割合が低下。生活保護世帯、障がいのある方が増加していく可能性。公共施設等の老朽化、大量更新期の到来。

健全化の取組をしなければ、重要施策の推進や政策的経費の財源は減少する。

事務事業の優先順位の最適化を図る必要があり、①投資の選択と集中、②積極的な収入の確保、③経常的経費の見直しにより確保。

※ 社会保障関係費や公共施設等の改修・修繕費用など経常的経費の伸びが一般財源総額の伸びを上回ることから、さらなる財政健全化の取組を行わなければ政策的経費に使える財源は次第に減少していく傾向にある。

## IV 健全な財政運営に向けた取組み

### 1. 数値目標

#### (1) 政策的経費の財源確保

財源の減少への対応ではなく「ビルド&スクラップ」の精神。

市民生活に必要な行政サービスの確保 進プランなど重要施策の推進や新たな課題への対応のための財源確保。「優先順位の適正化」

- ①投資の選択と集中
- ②歳入の確保 収入・収納率等の向上。市有財産の有効活用等。
- ③経常的経費の見直し 行政運営の効率化。役割分担、関与の見直し。  
行政サービス、公共施設等の見直し。⇒ 優先順位の最適化を図る。

#### (2) 市債管理

市債残高の縮減。臨時財政対策債の廃止を求め可能な限り抑制。

### 2. 局・区による自立経営の強化

- ①予算編成における局区長の権限と責任の拡大
- ②市長・副市長と局区長とのコミュニケーションの場を創設
- ③経費節減インセンティブ制度の導入

### <所感>

過去の議員研修等において議会の役割で「予算審査が重要」と聞いてきたが、財政に関しては自身勉強不足を感じていた。本講座は「自治体経営・財政の入門講座」「自治体財政の現実と課題」「ビルドとスクラップ」「財政課の仕事を考える」等充実した内容で、財政課を経験された講師でもあり受講を決めた。

「そもそも財政とは何か」「予算の作り方」「どうやったら予算をとれるか」「優先順位の決め方」担当者や議員の聞きたい点や「全体像。収入・支出バランス。社会保障費。借金、将来見通しは大丈夫か。お金がない。」等の疑問に答える形で財政健全化とは何かということについて説明を受けた。

予算とは支出であると同時に収入であること。①支出は収入の範囲内で抑える。②議会を通らないと成立しない、使えないこと。いろんな立場の人が議論し可決したもので目の前の困った人のことになること。また予算の作り方としての一件査定と枠予算のそれぞれの良い点についても話された。

明らかに無駄なものとはなくなってきたおり、政策を推進するためのビルド&スクラップの必要性、健康が目的ではなく、やりたいことが出来ることであるように、財政健全化もそれ自体が目的ではないことなど伺い大変参考になった。

浜田市の歳入や歳出を一般財源ベースで性質別、目的別に分析し、財政構造の変化と今後の見通し、財政健全化の課題について研究し理解を深めたい。